

千種川水系での河川改修の効果

— 9月1～4日豪雨洪水で上流部の浸水被害を回避、中・下流部の対策の効果を確認 —

千種川水系では、佐用町と上郡町で上流部の緊急河道対策を進めています。中・下流部において、上郡町内で床上浸水対策事業により河川改修を行ったほか、有年地区で河道掘削により河積を拡大させるなど、上下流バランスに考慮して治水対策を実施しています。今回の豪雨では、佐用地区の浸水被害を回避した他、水系全域で洪水が安全に流下できたことが確認できました。

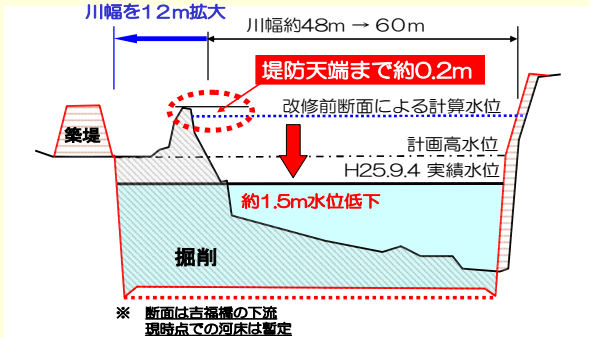
位置図



①佐用川(佐用市街地)

整備前であれば、洪水が堤防とほぼ同じ高さにまで達していたことから、甚大な被害をもたらしていた可能性があります。

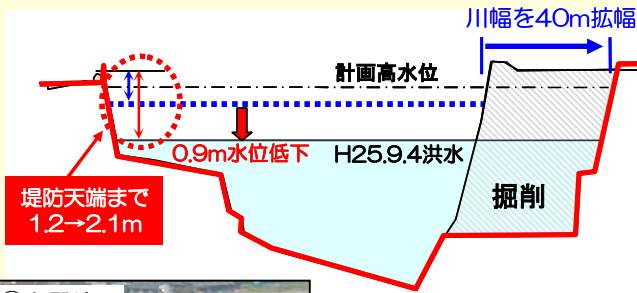
整備後の状況：断面が約2倍に拡大



②千種川(上郡地区)

整備前であれば、堤防天端まで1.2mまで迫っていましたが、洪水を安全に流下することができました。

整備後の状況：断面が約1.4倍に拡大



③千種川(有年地区)

整備前と比較して、0.4m水位が低下し、洪水を安全に流下できました。

整備後の状況：断面が約1.03倍に拡大

